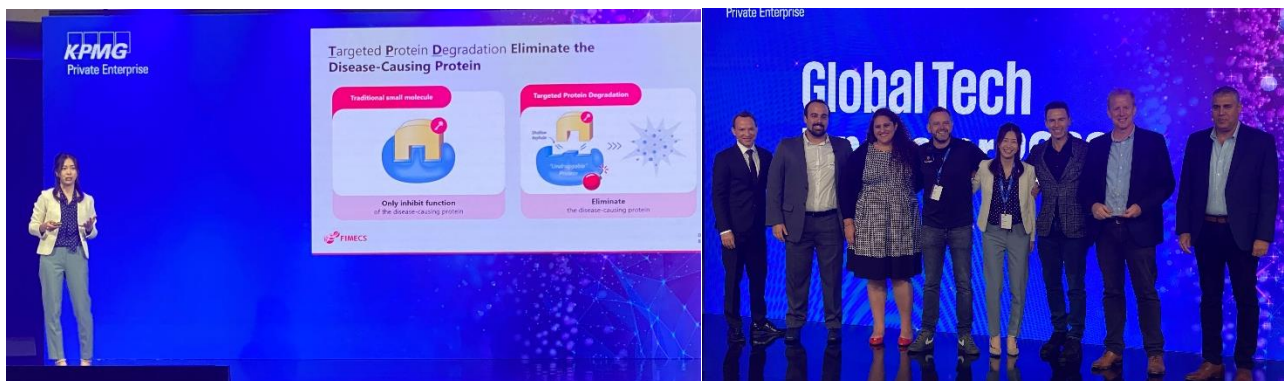


KPMG Private Enterprise's Global Tech Innovator 2022にて 世界第2位に選ばれました

ファイメクス株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：富成 祐介、以下「当社」）はこのたび、11月2日にポルトガルリスボンにて開催された KPMG Private Enterprise's Global Tech Innovator 2022（以下「本イベント」）に日本代表として当社の共同創業者で取締役 CSO の蒲香苗が登壇し、第2位に輝きました。

本イベントは22カ国から予選を勝ち抜いたスタートアップが参戦し、AI やライフサイエンス、ヘルステックおよびフィンテックなど最新のテクノロジーを駆使したスタートアップのピッチが行われました。



当社取締役 CSO である蒲香苗は、次のように述べています。「世界大会において第2位を受賞でき、画期的な薬を患者さんに届けるべく熱意が評価されたと思うと大変光栄に思います。この表彰を受け今後さらに当社プラットフォームの海外展開と資金調達の機会を拡大していくべく精進する所存です。」

【ファイメクス社について】

ファイメクス社は、タンパク質分解を作用機序とした新規医薬品の研究開発を進める創薬ベンチャー企業です。独自の E3 リガーゼ結合分子と創薬基盤技術「RaPPIDS™」を基に、これまで”undruggable (創薬困難)”とされてきたがん疾患に関連するタンパク質を標的とする複数の First-in-class 新薬開発プログラムを進めています。当社は、RaPPIDS™ を社内プロジェクトだけでなく、国内外の企業、研究機関との共同研究に利用することで、幅広い医薬品標的とアンメットメディカルニーズに対処し、世界中の患者さんと家族にとっての Life-saving medicine を提供して参ります。 <https://www.fimecs.com/>

【RaPPIDS™について】

RaPPIDS™ (Rapid Protein Proteolysis Inducer Discovery System)は迅速にタンパク分解誘導剤を創出するための創薬基盤技術です。当社独自のノウハウと Diversity Oriented Synthesis により、タンパク分解誘導剤の構成要素である標的タンパク結合分子、リンカー、および E3 リガーゼ結合分子の最適な組み合わせを迅速に探索評価することが可能です。さらに、RaPPIDS™を応用することで、タンパク質分解誘導剤に利用可能な新規 E3 リガーゼ結合分子の探索を可能とし、より広範な標的タンパク質の分解が可能になるものと考えられます。

【本件に関するお問い合わせ先】

ファイメクス株式会社

神奈川県藤沢市村岡東二丁目 26 番地の 1

E-mail : info@fimecs.com Tel : 0466-96-0261